

第 64 回未来医療セミナー

2011.6.10 18:00~19:00

大阪大学医学部講義棟 C 講堂

未知の生理活性ペプチドへの挑戦

国立循環器病研究センター 研究所

寒川 賢治

生体が健全に機能するためには多くの体液性および神経性の因子による制御が必要であり、その破綻が疾患の発症に繋がる。この複雑な制御機序を明らかにするアプローチの一つとして、生体内に存在し、これまで発見されていない新規生理活性ペプチド(ホルモン)の探索・発見があげられる。その目的に向けて、われわれのグループでは独自の探索法を開発し、これを用いてニューロメジン類、ナトリウム利尿ペプチド・ファミリー (ANP, BNP, CNP), アドレノメデュリン, グレリンなど約 30 種類以上の生理活性ペプチドを発見している。本講演では、これらの新規生理活性ペプチドについてグレリンを中心として、その探索・発見と生理的意義や臨床応用について紹介したい。



主催: 未来医療交流会
後援: 文部科学省橋渡し研究支援推進プログラム
大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」
大阪大学医学部附属病院未来医療センター
大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

連絡先: 未来医療交流会(大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)
Tel: 06-6879-6557, 6551, Fax: 06-6879-6538
E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp
<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/>

MTR